

# 総本山 知恩院



三門

京都市東山区林下町に立地する浄土宗の「総本山 知恩院」。国宝御影堂をはじめ、数多くの伽藍が文化財指定建造物となっている。京都の人々からは親しみを込めて「ちよいんさん」「ちおいんさん」と呼ばれている。



トイレ棟 外観

このたび、「国宝御影堂(本堂)・重要文化財集會堂 修復事業完遂」の一環として、集會堂前の庭園整備と同位置のトイレ建替えが行われた。

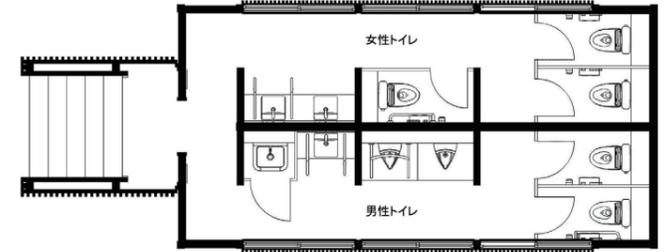


トイレ棟 外観

トイレ棟は、敷地内の歴史ある伽藍との意匠的な調和を目指し、伝統木造様式の真壁工法を採用している。

## トイレ棟 図面

トイレ棟は、今回一体整備された周囲の庭園との調和を図るためコンパクトな建物となっているが、中でも必要な便器数を確保。また、屋根架構現しの広がりのある空間となっている。



トイレ棟 入口

高齢者などの利用も多いため、入口への階段の傾斜はゆるやかにし、手すりも設置。また、トイレサインも建物になじむよう木材で作成するなど、細部にわたり境内の雰囲気と調和させている。



トイレ棟 入口

男女トイレの各入口には、訪問客の利用以外にも僧侶が袈裟を掛けることを想定し、コート掛けや姿見鏡が設置されている。



女性トイレ 全体

内装は、木の自然な風合いを味わえる、明るく広がりのあるすっきりとしたデザインとしている。



女性トイレ 洗面コーナー

洗面コーナーには、衛生面に配慮して、非接触で利用できる自動水栓と自動水石けん供給栓を採用。さらに、季節を問わず快適に手洗いができるよう、電気温水器も設置されている。



女性トイレ 大便器ブース

大便器は、奥行きがコンパクトで、連続洗浄可能なパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を設置。さまざまな利用者への配慮として、男女トイレともに1ヶ所にL型手すりを設けている。



男性トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性に優れた壁掛型の自動洗浄小便器を設置。さまざまな利用者への配慮として、1ヶ所に小便器用手すりを設けている。

## 水まわりの特長

### 建物の特徴

京都・東山三十六峰のひとつである華頂山のふもと、開祖・法然がみ教えを広め、没した遺跡の地をゆかりとし、東山区林下町に立地する浄土宗の「総本山 知恩院」。徳川家康公が京都の菩提所と定めたことから江戸時代以降に大伽藍が築かれ、国宝の御影堂や三門などその多くは、国宝や重要文化財に指定されている。現在も京都の重要な歴史・観光スポットであり、京都の人々からは親しみを込めて「ちよいんさん」「ちおいんさん」と呼ばれている。今回、「国宝御影堂(本堂)・重要文化財集會堂 修復事業完遂」に伴う周辺整備の一環として、集會堂前の庭園内にあったトイレを建替え。境内の歴史ある伝統的伽藍になじむよう、和風の木造建物のトイレ棟として整備。なお、境内にはほかにも数ヶ所のトイレを備えている。

### トイレの特長

国宝の御影堂、重要文化財の集會堂など周囲の伽藍意匠に倣い、伝統木造の真壁工法を採用。内装も木の自然な風合いを味わえる、明るく広がりのあるデザインとした。観賞用の庭内に位置するため、建物ボリュームをできるだけ抑え、中でも必要な便器数を確保している。また、老若男女はもとより訪日観光客も利用するため、シンプルで使い勝手のよい器具を選定。衛生面に配慮して、洗面コーナーには非接触で利用できる自動水栓と自動水石けん供給栓、さらに、快適に手洗いができるよう電気温水器も設置している。利用者からは「周囲の伝統的な建物意匠にあった温かみのあるトイレ」「本堂の近くにあるので便利で使いやすい」と好評である。なお、トイレは土足利用ではないため、より清潔を維持できている。

## 建築概要

名称	総本山 知恩院
所在地	京都府京都市東山区林下町400
施主	浄土宗 総本山 知恩院
設計	株式会社 竹中工務店
施工	株式会社 竹中工務店
竣工年月	2023年10月
敷地面積	95,415.00㎡
建築面積	34.68㎡(トイレ棟)
延床面積	34.68㎡(トイレ棟)
構造・階数	木造・地上1階(トイレ棟)

## おもなTOTO使用機器

- パブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式:CFS498B
- ウォシュレットP:TCF589AU特/棚付二連紙巻器:YH650
- 自動洗浄小便器:UFS900R/マーブライカウンター(ポウル一体タイプ):MK45
- 自動水栓一体形電気温水器:REAH03B1R系
- 自動水石けん供給栓:TLK08S01JA
- パブリック用手すり:T112CL10、T113BU22/カウンター用手すり:M268N